

# 今年の開催地は北海道!

記念講演は香山リカさんに決定  
第43回・全国女性のつどいIN札幌



日 時

2006年5月13日(土)  
~14日(日)

場 所

ホテルサンルート  
ニュー札幌

## 記念講演

香山リカさん（精神科医・帝塚山学院大学  
人間文化学部人間学科教授）

今年の「女性のつどい」は札幌での開催。札幌では、6月にデジタル放送開始、YOSAKOIを控え大変な時期ではあります。そんな「熱」も感じられるはずですが、みなさんの参加をお待ちします。

\*宿泊・交通の申し込み先は、旅行代理店経由になりますので、詳細は次号で。

また、「議論されている論題があります。ネットなどではその議論をみることができますから是非ご覧になつて、そこで「報道事例を検証してみることが必要です。

この「第一次男女共同参画基本計画案」は、「男女雇用均等法改正」はもちらん、日本の伝統・慣習も配慮した形になりますが、その削除を求める反対論には、自民党内でたたかれた「過激な性教育・ジェンダー・フレンドシップ」についての議論がなされました。たたかれた竹原氏からも指摘があつたように、「過激な性教育」がどのようなものであったかの議論がなされないままです。

06年 男女雇用均等法改正に向け

# 「間接差別」の扱い 「ジェンダー用語」で論争

昨年末に注目したい二ユースが二つありました。

まず、

女性協議会

## ●女性協 URL ●

<http://www.minpororen.jp/women/index.html>

006年の男女雇用均等法改正に向けて出された厚生省の「労働政策審議会雇用均等分科会の中間報告書」には、以下のように記載されています。

「間接差別」（偏見・成り行き）について賛否論を併記することになりました。

これについては女性差別の「かくわみ」になつてゐるといわれており、「形

中、昨年の女性雇用均等法

会議と同様に、皆さ

人の間で、議論し「雇用平等法」へ少しでも近づく

よう働きかけましょう。

◆二つ目は、「ジェンダー」という言葉の論争について

教育実験調査プロジェクト

で、12月末に提出された第

二次男女基本計画案では、

「男女の性差を示す「ジェン

ダー」の用語を削除する一

方で、「ジェンダーフリー」

と称して過激な性教育などを

学校現場で行なうことは、

「極めて非常識」と指摘

されていますが、今年はよ

りアンチナ子を高めて騒み

たいものです。

※(註)「間接差別」とは、

性中立基準・規則・慣

行であっても、一方の性の

多数が排除されたり、不利

になる場合のことであり、

例えば、女性が多くを占め

るバー・や劇場・社員

スタッフという非正規社員

に対する差別や、コース別

雇用による差別は間接差別

である。欧米各国では、「間

接差別禁止」を取り入れて

おり、判例も出てきている

また、国連女性差別撤廃委

員会では日本政府に対し、

国内法で規定するよう勧告

している。

